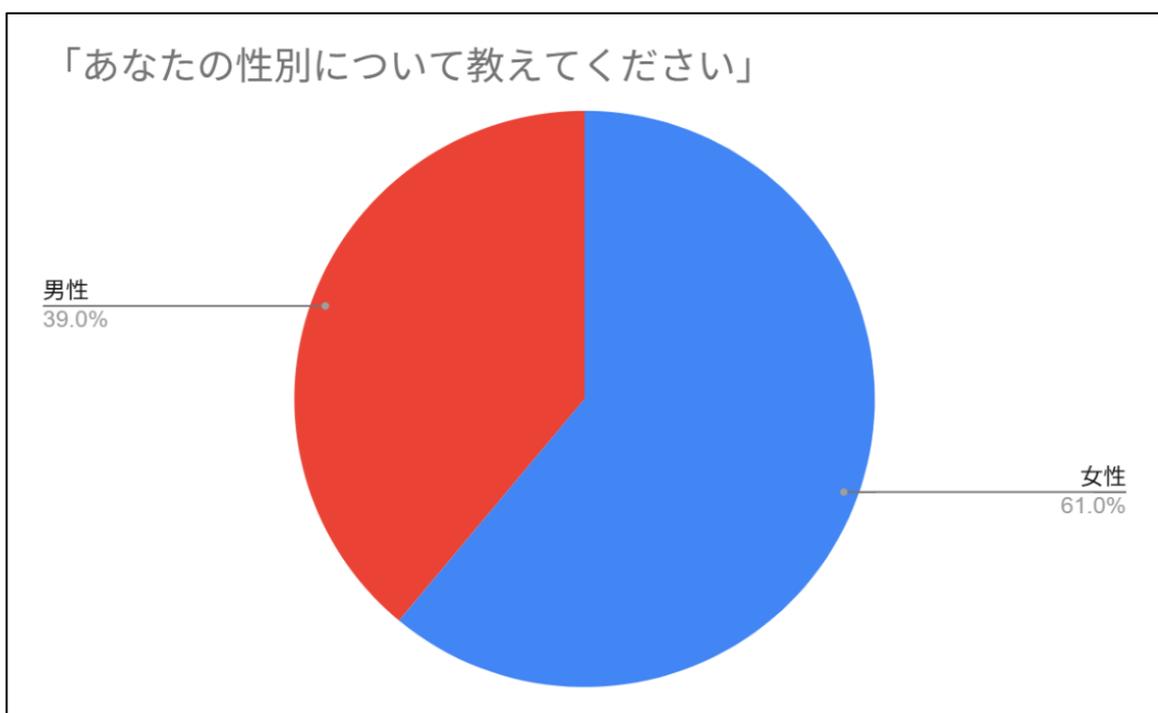
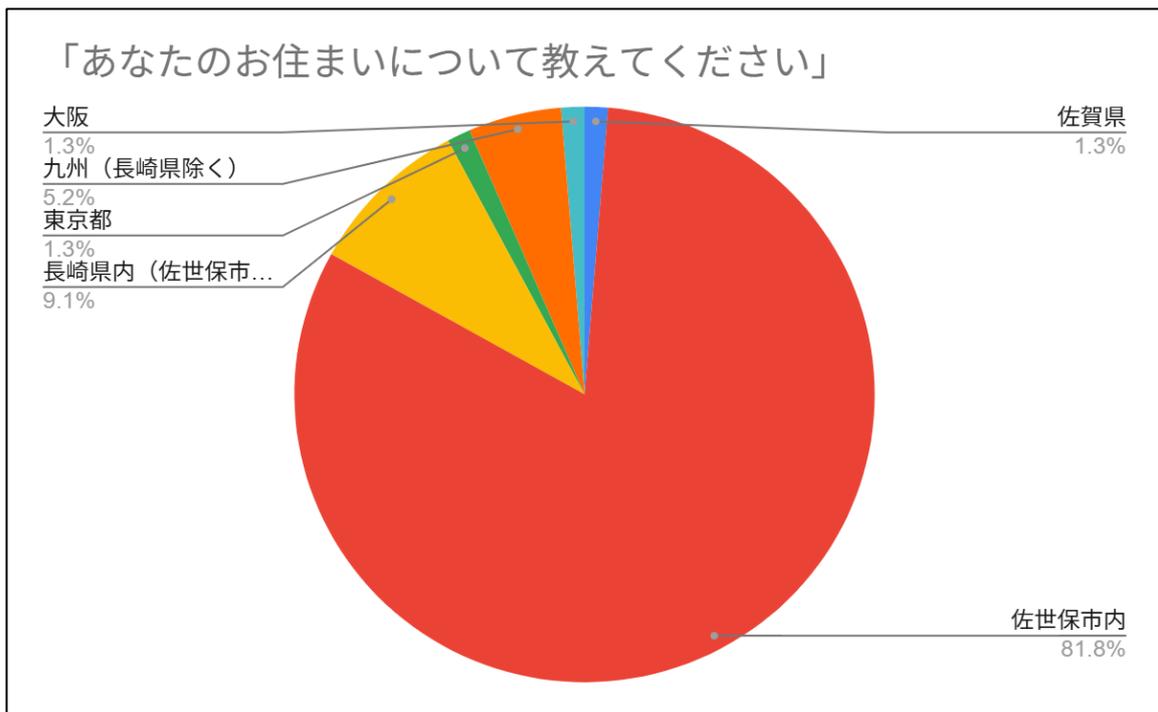


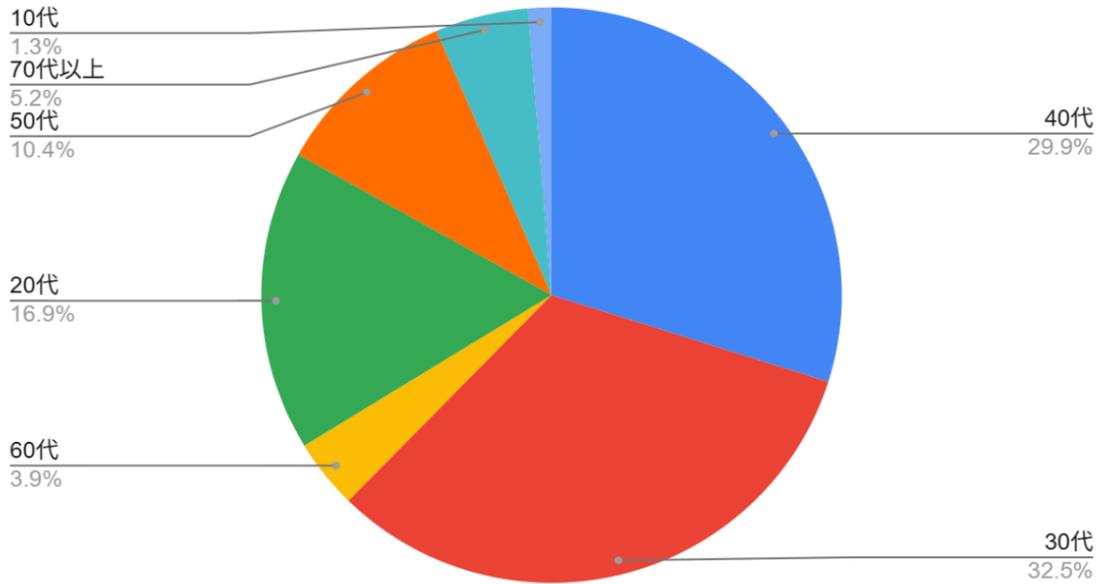
令和7年度 九十九島ひらまさに関する認知度アンケート調査結果

[アンケート実施期間] 令和7年4月26日(土)～27日(日)

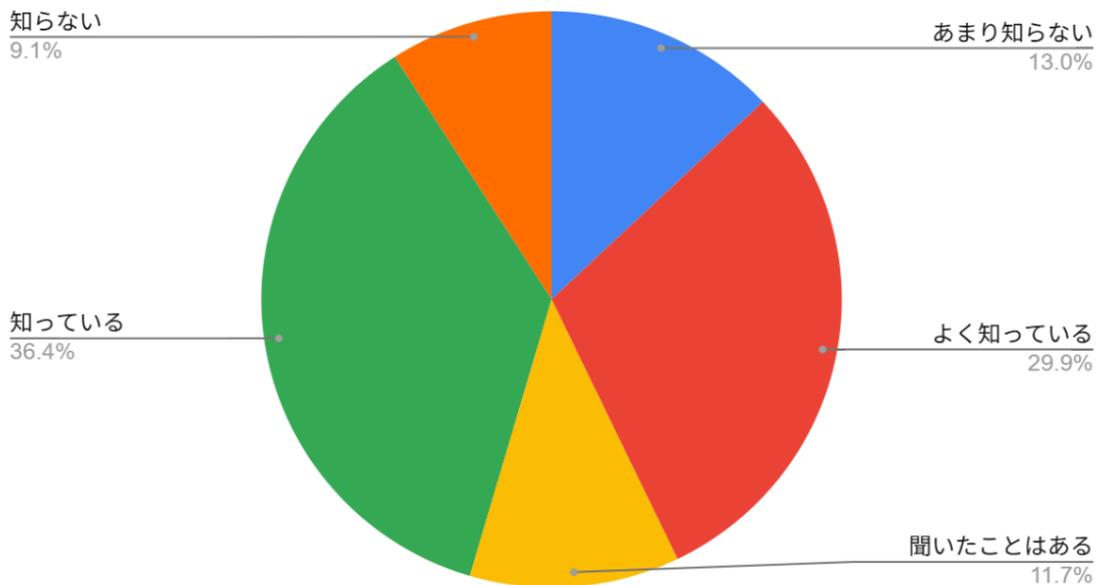
[回答件数] 77件



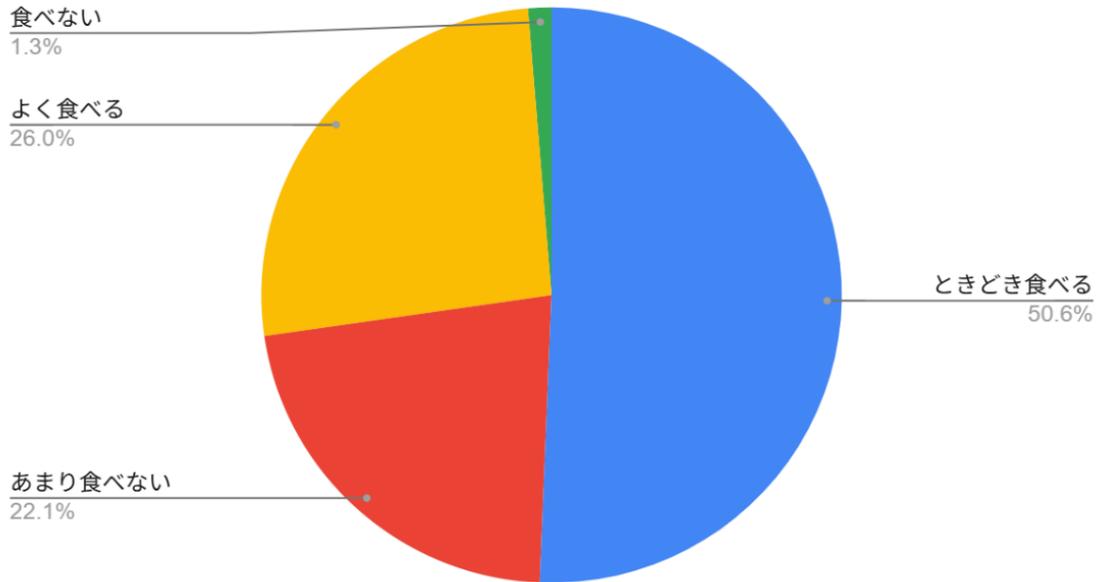
「あなたの年代について教えてください」



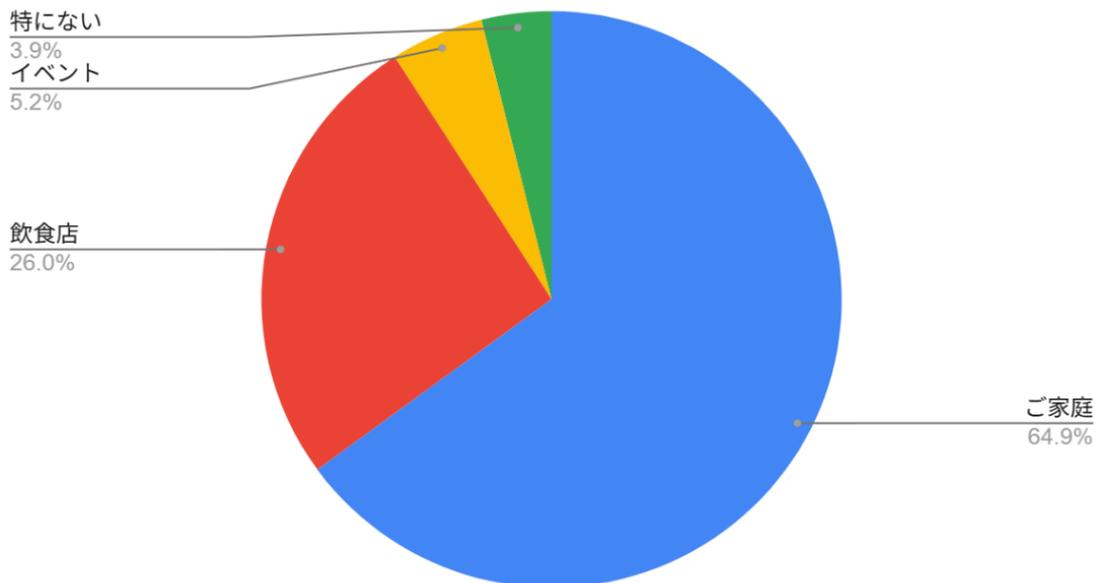
「あなたは九十九島ひらまさを知っていますか？」



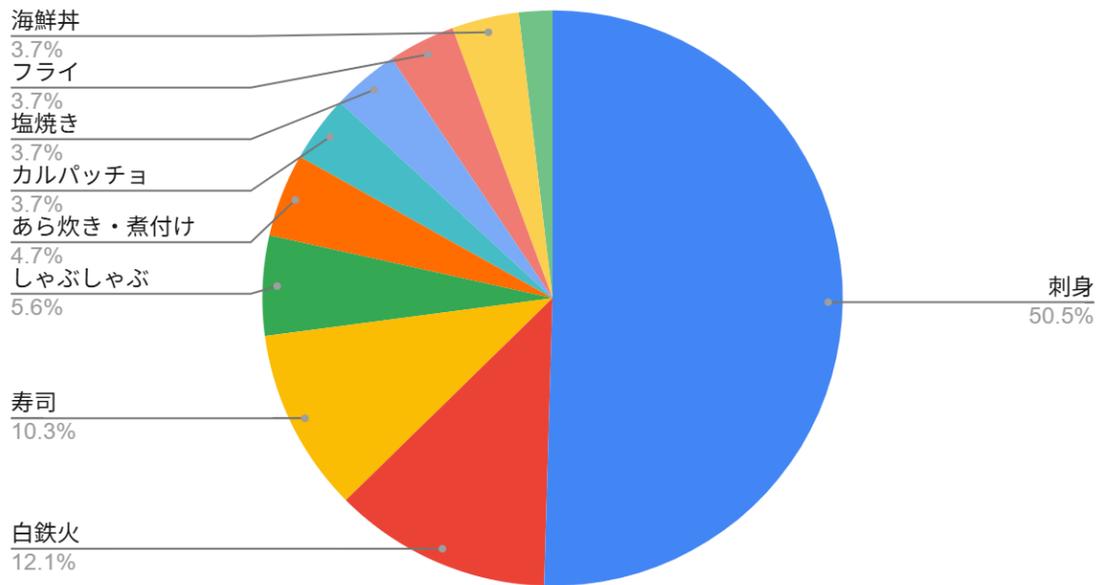
「あなたは普段「ひらまさ（ひらす）」を食べますか？」



「ひらまさ（ひらす）を食べるシーンを教えてください。」

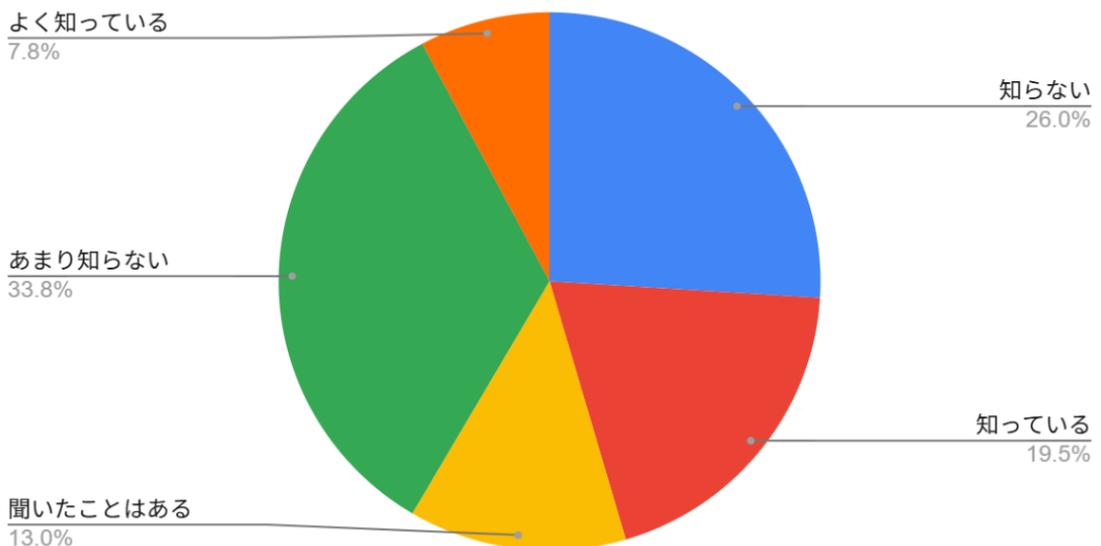


どのようなひらまさ料理を知っていますか？



その他、南蛮漬け、レモンステーキ風、ピザ風、ひらまさ醤油ラーメン、酢締め、竜田揚げ、サラダ、ムニエル、バーガー、あら汁などの回答があった。

「あなたは「九十九島ひらまさTOWN」の取り組みを知っていますか？」



【九十九島ひらまさについて】

回答者の9割が九十九島ひらまさを認知しており、約8割がよく食べるまたはときどき食べると回答した。

各年代の傾向としては、若い年代ほど認知度が低く、食べる頻度も少なめ。中高年層ほど認知度・消費頻度が高く、幅広い調理法で楽しんでいる。20代～30代は家庭で食べる割合が高く、40代以上は飲食店でも食べる機会が増える。

20代

認知度:「聞いたことはある」「あまり知らない」と回答する人が多い。

食べる頻度:「ときどき食べる」が主流。「よく食べる」と答える人は少なめ。

食べ方:刺身、寿司、鉄火巻きなどシンプルな料理が多い。飲食店よりも家庭で食べる人が多い。

30代

認知度:「知っている」「聞いたことはある」と答える人が多い。

食べる頻度:「ときどき食べる」が最多で、「あまり食べない」も一定数見られる。

食べ方:刺身、寿司、カルパッチョ、フライなど、バリエーションが増える傾向。家庭と飲食店の両方で食べる。

40代

認知度:「よく知っている」「知っている」が多く、認知度が高い。

食べる頻度:「ときどき食べる」が最も多いが、「よく食べる」層も一定数いる。

食べ方:刺身、寿司、しゃぶしゃぶ、あら炊きなど、幅広い料理方法が挙げられている。家庭・飲食店の両方で食べる。

50代

認知度:「知っている」「よく知っている」が多く、認知度は高め。

食べる頻度:「ときどき食べる」が主流。「あまり食べない」層も一部いる。

食べ方:刺身、寿司、煮付け、フライ、鉄火巻きなど。家庭での消費が中心。

60代以上

認知度:「知っている」「よく知っている」が多い。

食べる頻度:「よく食べる」「ときどき食べる」が多く、継続的にひらまさを食べる傾向。

食べ方:刺身、寿司、煮付け、フライ、あら煮など。家庭と飲食店の両方で食べる。

【九十九島ひらまさ TOWN の取り組みについて】

「九十九島ひらまさ TOWN」の取り組みの認知度は、年齢が上がるほど高くなる傾向があり、20代・30代の認知度は低めのため情報発信が必要。40代以上は比較的認知度が高く、実際に取り組みを知っている人も多い。

20代:認知度が低く、「知らない」「あまり知らない」と回答する人が多い。

30代:「聞いたことはある」「知らない」と答える割合が高く、認知度は中程度。

40代:「知っている」「聞いたことはある」と回答する人が増え、認知度が高まる。

50代:「知っている」「よく知っている」と答える人が多く、比較的認知度が高い。

60代以上:「よく知っている」「知っている」と答える割合が最も高く、認知度が非常に高い。